

1. 武蔵野の雑木林って何？

江戸時代、武蔵野台地に玉川上水がひかれて農村地帯が生まれました。薪・炭や腐葉土を得るために雑木林をつくりました。

☆短冊状の地割が並んでいたのを列村（列状村：関前村、西久保村、吉祥寺村＝図1）、屋敷や雑木林が分散しているのを散村（散居村：境村＝図2）といいます。



図1 短冊状の地割のモデル
※手前から屋敷地、農地(耕地)、雑木林
(埼玉県入間郡三芳町立歴史民俗資料館HPより転載)



図2 江戸時代の境村（想像図）
※夏目宗幸氏作成
(明治8年作製の地引絵図の土地利用情報を利用)

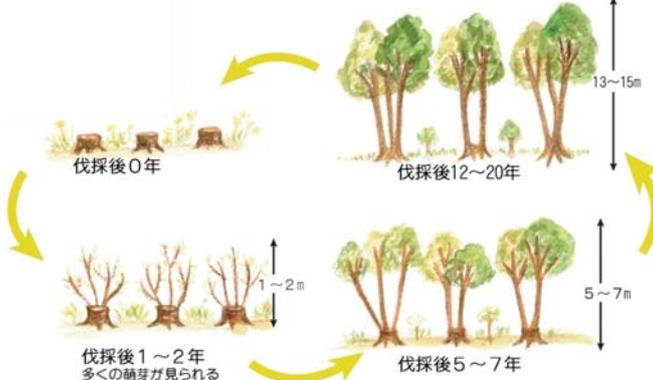


図3 萌芽更新のサイクル
(環境省『里地里山保全再生計画作成の手引き』2008年、8頁より)

雑木林の木は定期的に燃料として伐採され、切り株からの萌芽を育てて更新されていました（萌芽更新、図3）。

☆毎年場所を変えて順番に伐っていたので、さまざまな樹齢の区域がモザイク状になっていました。こうした多様な環境によって生物多様性が保全されていました。

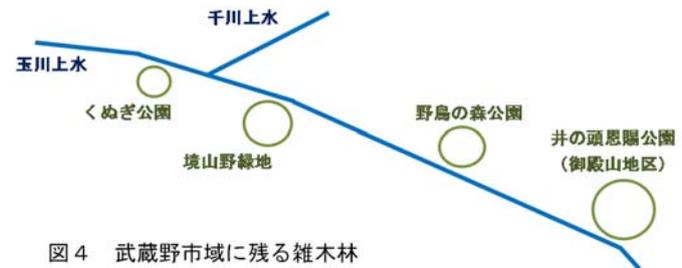


図4 武蔵野市域に残る雑木林

しかし、戦後の高度経済成長とともにない、大半が宅地化されて農地と雑木林は激減しました。武蔵野市内には、わずかの雑木林が玉川上水沿いに残るだけです（図4）。

これらの雑木林も、萌芽更新が行われなくなつたため、高木化と裸地化が進み、暗くて下草も生えません。

☆高木化とは木が高く太くなること、裸地化とは地面に草も生えなくなること。裸地化は、暗くて光が入らないことと、人々が長年にわたって踏み固めたことによります。

雑木林の消滅の危機？

大きく育った木が林冠(林を覆う最も高い部分)を占め、その他の木が衰弱します。衰弱すると倒木など危険なので、伐採が必要です。そのため、境山野緑地の独歩の森では、2018年3月に15本を伐採しました。こうして独歩の森は木の本数が減少し、間隔を空けて大木が並び、本来の雑木林とは異なる姿になっています。このままだと、武蔵野の雑木林は消滅してしまう可能性もあります。



高木化で暗い独歩の森



林床の裸地化が進む独歩の森

➡ 雑木林の再生でこうした問題を解決した事例を見てみましょう！（右側のAとBへ）

2. 今後の課題

- 福生市や西東京市の成功例から学び、萌芽更新で維持できる若い林への再生を含め、今から丁寧に自然環境の改善を図っていけば、**雑木林の生物多様性**をある程度は取り戻せます。
- 多くの市民や市民団体がネットワークを組んで、行政との協働によって武蔵野の雑木林をより良い状態で**未来の子どもたちへ**とつないでいきましょう！

重要ポイント1

「武蔵野市緑の基本計画2008」では、「境山野緑地の保全」を重点施策に掲げ、里山としての保全と利活用などの計画を市民とともに検討する、としています。「武蔵野市生物多様性基本方針」(2017年4月)では、「人と自然が調和する武蔵野市らしい生物多様性を守り、育てるまち」という目標を定めました。

重要ポイント2

境山野緑地では、植物の多様性が高いこと、雑木林を好む生き物が生息していることが確認されています。また、市内の雑木林はいずれも玉川上水沿いにあります。そのため、各雑木林は、井の頭恩賜公園、小金井公園を含むエコロジカル・ネットワークの中で生物多様性の復活の可能性を秘めています。



若返り前の暗い林



若返った雑木林の夏（伐採後10年）

明るくなつて、美しい花が
よみがえりました。

昔の雑木林には、こんな美しい花が咲
いていました。



キンラン



ササバギンラン



シュンラン

A. 福生市

里山の自然と文化を未来へつなぐ
(福生萌芽会・副会長 近藤富代子氏)



切り株からエゴノキの萌芽

エゴノキの切り株から多くの
芽が出て、伐採後2年目には、
1~2mまで育ちました。

●元副会長の生前の言葉

僕たちには子どもはいなかつ
たけれど、この若々しい雑木
林を次の世代の子どもたちに
残すことができました。それが、
何より嬉しい。この雑木林は
私の誇りだ。

福生市は2002年、市民を募って「福生萌芽会」を立ち上げ、市民との協働で雑木林を生態系豊かな状態に再生しました。

☆若返り（再生）が実現したのは、福生市立文化の森（福生市熊川）10,226㎡のうち約5分の1の2,200㎡です。



伝承遊び（シュロの作品）



雑木林を背に芋煮会で交流

●近藤さんの言葉

これからも自分達の住む身近な自然、そして武蔵野の面影を残す雑木林を、行政と協働で守りながら、「里山の文化」を次の世代につないでゆきたいと思っています。



若返り前の暗い林



若返り後の明るい林



アマナ



キンラン



ホタルブクロ



リンドウ



ヤマユリ



ヒラタクワガタ



トビナナフシ

林が若返ったら、こんなに野草や生き物が戻ってきました！

B. 西東京市

雑木林が若返って生き物と子どもたちが戻ってきた！
(西原自然公園を育成する会
会長 池田干城氏)

雑木林の若返り（再生）に成功し、草花や昆虫などの多様な生き物、それらと遊ぶ子どもたちが戻ってきました。

☆西原自然公園を育成する会が、2haある西原自然公園の再生を2000年から始め、1haを再生しました。



若い雑木林の間伐体験



中学生の草刈り応援隊

●審査員から頂いた言葉

2012年度東京都公園協会賞最優秀賞受賞時

市民がこんなに理にあったことを考えて、しかも実践しているところが素晴らしい。審査員全員一致の最優秀賞でした。



子どもも参加する山仕事体験会

●池田さんの言葉

雑木林は武蔵野の住民にとって、「林と共に生きてきた先人たちの歴史遺産である」と思っています。私たちの経験を記録した、更新ガイドBOOKをつくりました。